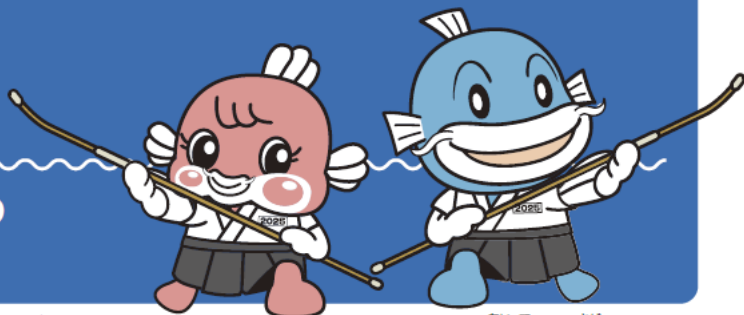


なぎなた

なぎなたを使い、試合競技と演技競技の
2種目で競う競技です。



日程・会場 ● 9月29日（月）～10月1日（水）

パナソニック(株)暮らしアプライアンス社彦根工場多目的ホール

プログラムは **p. 3～** 参照！

一般観覧 (可) 入場無料／入場整理券なし

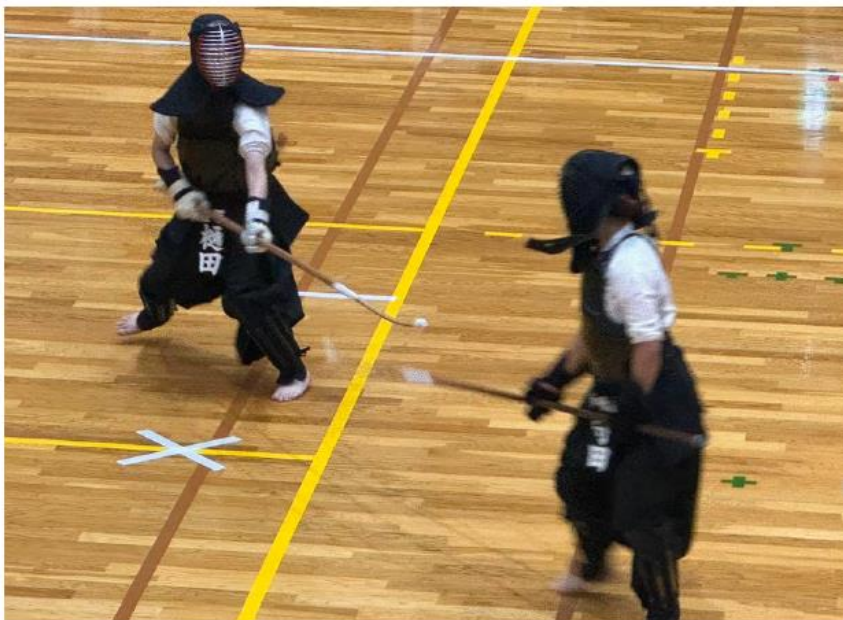
インターネット **LIVE配信・見逃し配信** も無料！（主に決勝戦）

- ・入場無料 ・入場整理券無 ・試合競技は声援が力になります！自由に応援してください。演技競技では、演技中の声援や拍手は控えましょう。5人の審判が旗を上げた後に盛大な拍手を！
- ・フラッシュ撮影はご遠慮ください。
- ・会場内への車の乗り入れはできません。

競技紹介

- 試合競技は、防具を身に付け、竹と樫の木でつくられた長さ220cmほどの「なぎなた」で、相手の定められた部位（面・小手・胴・咽喉・脛）を確実に早く打突して、1チーム3人の団体戦で勝負を競います。
- 演技競技は、防具をつけず、全日本なぎなた連盟で定められた8本ある「しかけ、応じ」の中から指定された3本の形を2人1組で行い、その技の優劣を競います。
- 2mを超えるなぎなたを巧みに操るためには、力任せではなく遠心力をうまく活用することが重要となります。華麗ななぎなたさばきが見所です。

競技のルールや見どころは **p. 5～** 参照！



滋賀県選手団

no	競技	種別	種目	役職	氏 名	勤務先・学校名・所属等	学年等	現 住 所
1	なぎなた	全種別		監督	西川 雄登	滋賀県東近江農業農村振興事務所		彦 根 市
2	なぎなた	成年女子		選手	小田島 由加里	滋賀県なぎなた連盟		甲 賀 市
3	なぎなた	成年女子		選手	梅田 千穂子	株式会社 橋電		京都府福知山市
4	なぎなた	成年女子		選手	山本 七叶	長浜元浜郵便局		彦 根 市
5	なぎなた	少年女子	演技・試合	選手	入江 そな	滋賀県立彦根翔西館高等学校	3年	彦 根 市
6	なぎなた	少年女子	演技・試合	選手	樋田 千咲	滋賀県立彦根翔西館高等学校	3年	犬上郡多賀町
7	なぎなた	少年女子	演技・試合	選手	諸川 凜	光泉カトリック高等学校	1年	彦 根 市

見どころ

- なぎなた競技は、力強さと優雅さが融合した動きや技術の美しさにあります。
長いなぎなたを使った迫力ある攻防や絶妙な間合いの駆け引きは、観戦者を引きつけます。
- 試合の打撃音や選手のスピード感も見どころの一つです。また、伝統的な型を通じて武道としての精神や礼儀作法を表現する点も魅力的です。
- 観戦の際には、是非以下の4点に注目してご覧ください！
 - ① 独特の動きと技の美しさ
薙刀は長い刃を持つため、大きな円を描くような動きが特徴です。そのため、攻撃や防御の動作は非常に優雅で美しく、見ているだけで躍動感を感じられます。
 - ② 試合の迫力
試合では、選手間の距離感やタイミングが極めて重要です。長い武器を扱う特性上、スピードや反応力が勝敗を左右します。
 - ③ 攻防の駆け引き
攻めと守りのバランスが非常に重要です。選手たちは相手の攻撃を受け流したり、間合いを保ちながら機会をうかがったりと、見事な駆け引きが展開されます。
 - ④ 防具の使用による安全性と迫力
選手は面、胴、垂などの防具を装着し競技に臨みます。この防具の音が打撃の正確さや迫力を際立たせます。

滋賀県広報課の注目ポイント

- 国スポのなぎなた競技は女子のみとなっていることご存じでしたか。武家の女性が「護身用」の武具としてなぎなたを所持するようになり、この競技の源流が形成されたという歴史的背景に由来していると言われています。
- **西川**監督は滋賀県職員です。同じ県職員でありながら今回はじめて知りました！
選手の皆さんの奮闘を期待したいですね。

[34] なぎなた競技

彦根市

競技日程

会場：パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場多目的ホール

監督会議	9月28日（日）15:00～16:00	パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場 会議室
審判会議	9月28日（日）16:10～17:00	パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場 審判員控室
オープニングプログラム	9月29日（月）9:20～9:50	パナソニック株式会社くらしアプライアンス社彦根工場 多目的ホール

1 日 目 9 月 29 日 (月)	【少年女子】 演技競技 (47都道府県参加)		
	第1試合場	競技	第2試合場
	10:20～10:41 (7試合)	1 回 戦 (15試合)	10:20～10:44 (8試合)
	10:41～11:05 (8試合)	2 回 戦 (16試合)	10:44～11:08 (8試合)
	11:15～11:27 (4試合)	3 回 戦 (8試合)	11:15～11:27 (4試合)
	11:28～11:34 (2試合)	準々決勝戦 (4試合)	11:28～11:34 (2試合)
	11:35～11:38 (1試合)	順位決定予備戦 (2試合)	11:35～11:38 (1試合)
	11:39～11:42 (1試合)	5位・7位決定戦 (2試合)	11:39～11:42 (1試合)
	11:43～11:46 (1試合)	準決勝戦 (2試合)	11:43～11:46 (1試合)
	—	3位決定戦 (1試合)	11:47～11:50 (1試合)
	11:50～11:53 (1試合)	決勝戦 (1試合)	—
	昼食 (11:53～12:50)		
	【少年女子】 試合競技 (32都道府県参加)		
	12:50～14:50 (8試合)	1 回 戦 (16試合)	12:50～14:50 (8試合)
	14:50～15:50 (4試合)	2 回 戦 (8試合)	14:50～15:50 (4試合)
	15:53～16:23 (2試合)	準々決勝戦 (4試合)	15:53～16:23 (2試合)
	16:26～16:41 (1試合)	順位決定予備戦 (2試合)	16:26～16:41 (1試合)
	16:44～16:59 (1試合)	5位・7位決定戦 (2試合)	16:44～16:59 (1試合)

競 技 日 程

2 日 目 9 月 30 日 (火)	【 少 年 女 子 】 試 合 競 技 (準決勝・3位決定戦・決勝戦)		
	第 1 試 合 場	競 技	第 2 試 合 場
	9:00 ～ 9:15 (1 試合)	準 決 勝 戦 (2 試合)	9:00 ～ 9:15 (1 試合)
	—	3 位 決 定 戦 (1 試合)	9:18 ～ 9:33 (1 試合)
	9:33 ～ 9:48 (1 試合)	決 勝 戦 (1 試合)	—
	【 成 年 女 子 】 演 技 競 技 (47都道府県参加)		
	10:00 ～ 10:21 (7 試合)	1 回 戦 (15 試合)	10:00 ～ 10:24 (8 試合)
	10:21 ～ 10:45 (8 試合)	2 回 戦 (16 試合)	10:24 ～ 10:48 (8 試合)
	10:55 ～ 11:07 (4 試合)	3 回 戦 (8 試合)	10:55 ～ 11:07 (4 試合)
	11:08 ～ 11:14 (2 試合)	準 々 決 勝 戦 (4 試合)	11:08 ～ 11:14 (2 試合)
	11:15 ～ 11:18 (1 試合)	順 位 決 定 予 備 戦 (2 試合)	11:15 ～ 11:18 (1 試合)
	11:19 ～ 11:22 (1 試合)	5 位 ・ 7 位 決 定 戦 (2 試合)	11:19 ～ 11:22 (1 試合)
	11:23 ～ 11:26 (1 試合)	準 決 勝 戦 (2 試合)	11:23 ～ 11:26 (1 試合)
	—	3 位 決 定 戦 (1 試合)	11:27 ～ 11:30 (1 試合)
	11:30 ～ 11:33 (1 試合)	決 勝 戦 (1 試合)	—
	少年女子表彰式 (11:50 ～ 12:15)		
	昼 食 (12:15 ～ 13:00)		
	【 成 年 女 子 】 試 合 競 技 (47都道府県参加)		
	13:00 ～ 14:45 (7 試合)	1 回 戦 (15 試合)	13:00 ～ 15:00 (8 試合)
	14:45 ～ 16:45 (8 試合)	2 回 戦 (16 試合)	15:00 ～ 17:00 (8 試合)

3 日 目 10 月 1 日 (水)	【 成 年 女 子 】 試 合 競 技 (3回戦 ～ 決勝戦)		
	第 1 試 合 場	競 技	第 2 試 合 場
	9:00 ～ 10:00 (4 試合)	3 回 戦 (8 試合)	9:00 ～ 10:00 (4 試合)
	10:03 ～ 10:33 (2 試合)	準 々 決 勝 戦 (4 試合)	10:03 ～ 10:33 (2 試合)
	10:36 ～ 10:51 (1 試合)	順 位 決 定 予 備 戦 (2 試合)	10:36 ～ 10:51 (1 試合)
	10:54 ～ 11:09 (1 試合)	5 位 ・ 7 位 決 定 戦 (2 試合)	10:54 ～ 11:09 (1 試合)
	11:10 ～ 11:25 (1 試合)	準 決 勝 戦 (2 試合)	11:10 ～ 11:25 (1 試合)
	—	3 位 決 定 戦 (1 試合)	11:28 ～ 11:43 (1 試合)
	11:43 ～ 11:58 (1 試合)	決 勝 戦 (1 試合)	—
	成年女子表彰式 総 合 表 彰 式 (12:40 ～ 13:20)		

なぎなた競技の見方

なぎなた競技には、「試合」と「演技」の2つがあります。

試合競技は、防具を身につけ、定められた部位を互いに打突して勝負を競います。

また、演技競技は、防具を身につけず、指定された形を対人で行ってその技を競います。

1. 試合競技

試合競技は団体戦で行います。

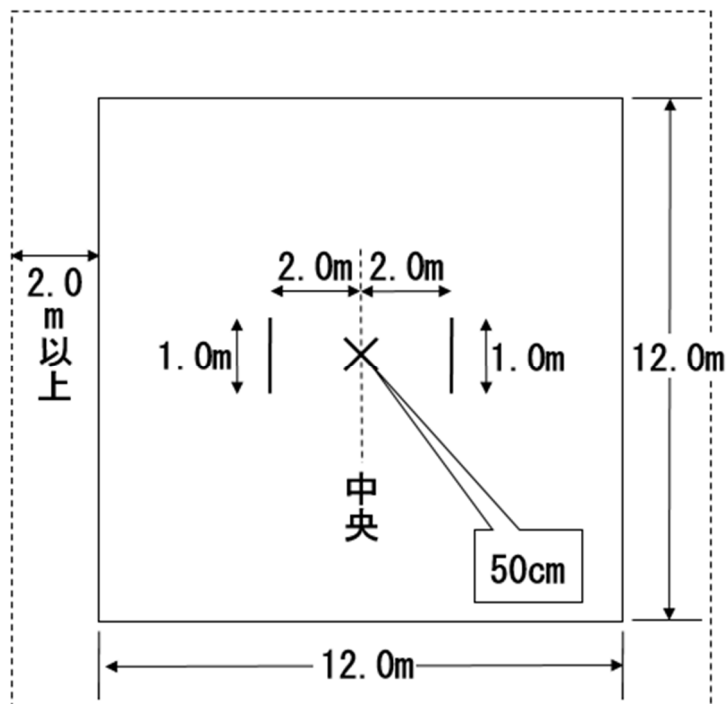
2人の試合者が、定められた部位（面部、小手部、胴部、脛部、咽喉部）を、確実に早く打突して勝負を競います。

技は、振りあげ、持ちかえ、振り返して左右からあらゆる方向へ打つことができます。

敏速な動きの中から打突の機会を見出し、全力をあげて技を競い合います。相手に対して、よい間合からタイミングよく技を出すことが勝利に結びつきます。

（1）試合場

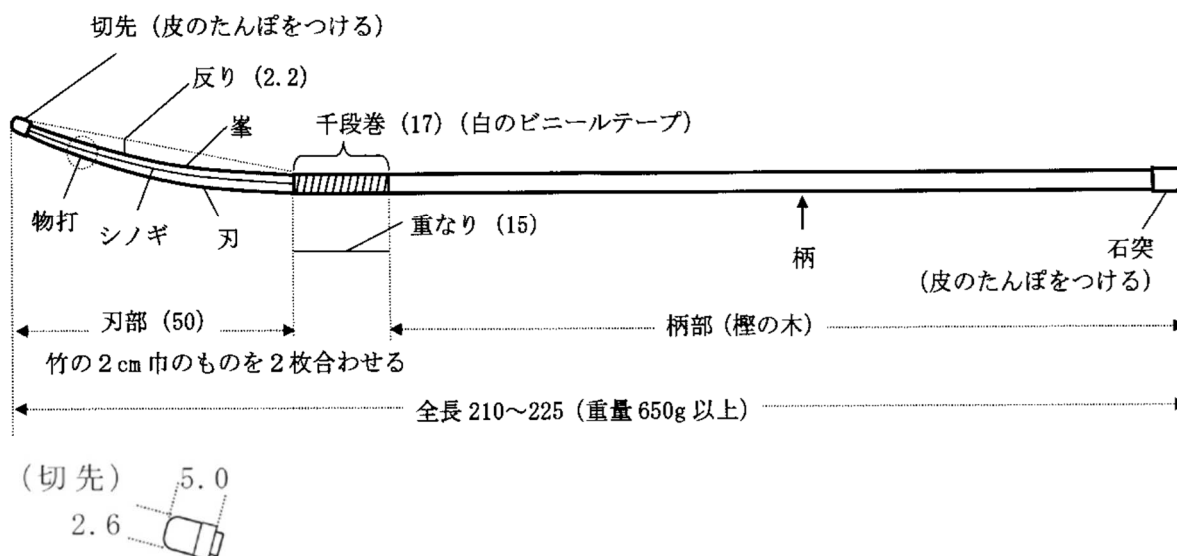
コートのはさは12m四方です。



開始線は中央より2m
開始線長さ1m
中央の×印線長さ50cm

(2) 用 具

なぎなたは、次のような長さ、重量及び材質のものを 사용합니다。



(3) 試合の方法

3 本勝負が原則で、試合時間内に有効打突を 2 本先取した方が勝ちとなります。ただし、所定の本数に達しない時は、1 本先取した方を勝ちとします。

試合競技の試合時間は、3 分。勝敗が決しない場合は、延長戦を行います。延長時間は 2 分、延長 1 回で勝敗が決しない場合は、審判員の判定とします。団体戦の勝負は勝者数により決定します。

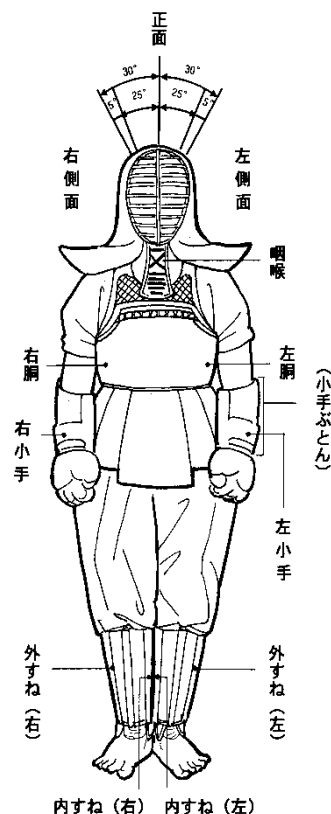
(4) 有効打突

有効打突とは、なぎなたの打突部で打突部位を、充実した氣勢と適法な姿勢とをもって、打突部位を呼称しながら確実に打突したものをいいます。

- ①物打 (切先から 15~20 cm) が正確に打突部位に到達していること。
- ②打突時に姿勢が正しく理にかなった動作であること。
- ③打突の機会がよいこと。
- ④気魄に満ち、打ったあと残心があること。
- ⑤やや軽くとも追い込んだ際の打突、あるいは追い込まれた時に加えたもっとも確実な打突。これらの条件を満たしている打突が有効と認められます。

(5) 打突部位となぎなたの打突部

打 突 部 位	なぎなたの打突部
面 部—正 面(中央) 左右側面 (正面中央より左右に 25° ～30°)	●切先より 15cm～20cm のところ (物打)
小手部—左右小手 (甲側の手首から 5cm のところ)	●切先より 15cm～20cm のところ (物打)
胴 部—左右胴	●切先より 15cm～20cm のところ (物打)
脛 部—左右脛 左右内脛 (膝とくるぶしの中間)	●切先より 15cm～20cm のところ (物打) および柄(石突より 20cm～ 25cm のところ)(柄打ちのすねは高 校生以下は禁じられている)
咽喉部—咽 喉	●切先 (高校生以下は禁じられている)



(6) 勝負の判定

審判員は3名で、2人以上の審判員が打突を有効と認めた時、1本となります。審判員は、両手に赤、白の審判旗を持ち、有効と認めた時はその方の旗を斜め上にあげ、認めない時は両方の旗を前下で振って意志の表示をします。

審判員の判定に対して、異議の申し立てはできません。

(7) 反則の主なもの

片足の全部が場外に出た時、倒れて体の一部が場外に出た時は反則になります。また、なぎなたの柄部で相手の面を打つのも反則です。このほか試合規定に定められた反則を1試合中に2回重ねると相手に1本を与えます。

(8) 判定表示の方法

審判の判定は、次のように表示されます。

面……………㊗	反 則……………△
脛……………㊗	反則1本……………㊗
小 手……………㊗	(2回した場合)
胴……………㊗	判 定……………㊗
突 き……………㊗	棄 権……………㊗
	不戦勝……………○○

2. 演技競技

演技競技は、全日本なぎなた連盟のしかけ応じ8本の中から定められた3本を、2人1組の演技者によって行い、その技の優劣を競い合います。

なぎなたの技の向上をはかるとともに、正しいなぎなたの普及、発展を目的として行われる競技です。

(1) 観 点

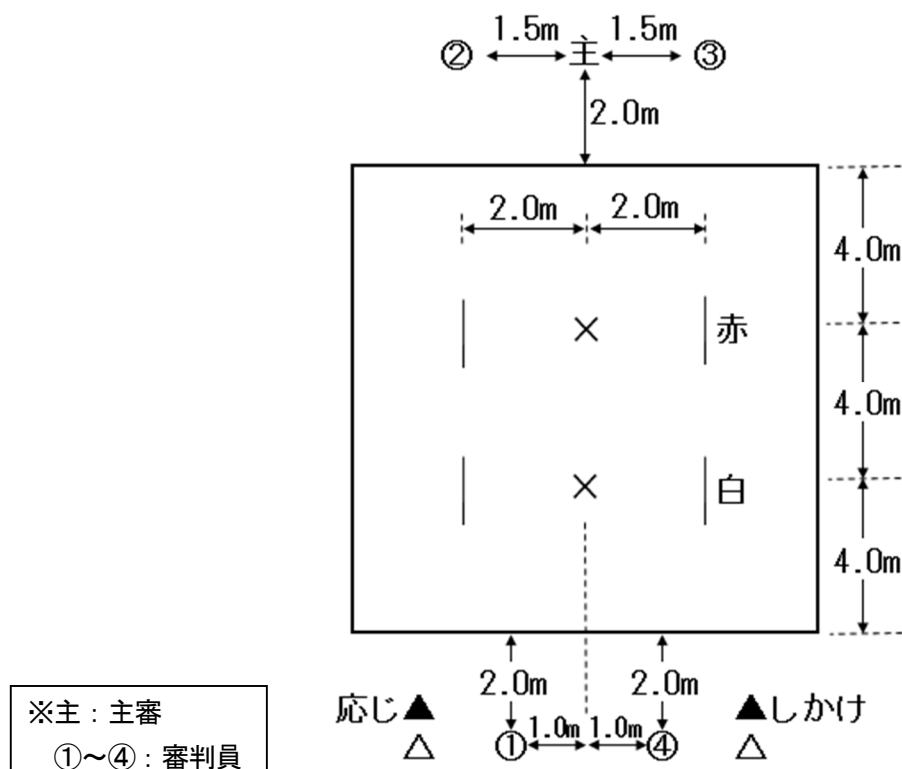
演技の判定基準となるものは、演技者双方の姿勢、服装、態度、発声、呼吸と気持ちが調和しているか、打突部位を正確に気魄に満ちた打突をしているか、残心、間合、手の内、着眼等理合にかなった技であるか、見る人に感動を与えたかなどの点です。

このように、なぎなたは気・剣・体一致の技をめざして修練が行われるので、活発な気合いに満ちた動きによって、苦しさに耐える旺盛な気力と集中力が養われます。それと共になぎなたは、礼に始まって礼に終わると言われるように相手を尊重し、信頼の上に立って対人競技を行う為に礼儀を重んじ、相手を尊ぶ心が自然に養われ優美な自然体が培われます。

これがなぎなたの真髄です。

(2) 演 技 場

コートの広さは12m 四方で、このコート内で赤、白2組の演技者によって技を競います。



(3) 勝 敗

5名の審判員が赤、白の旗を持ち、厳正的確に演技者の充実した氣勢と適法な姿勢による技の良否を見定めて判定し、過半数をもって勝敗を決定します。